

江戸時代の
湊の賑わいを
今に伝える

北前船

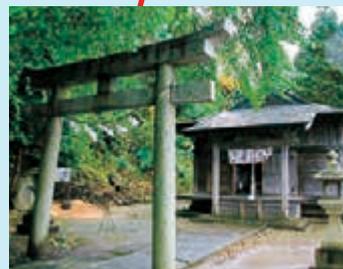
近世西海岸の湊町。
北前船が行き交い
華やかで
活気に満ちた場所だった。
船がもたらした文化を知り
日本海の海風を
浴びながら歩く旅は
趣深いものとなることでしょう。



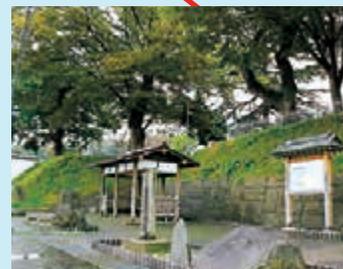
しゅんこうざんえんがくじ
■春光山円覚寺



かぜま かん
■風待ち館



しらはちまんぐわ
■白八幡宮



あじがさわ
■鱒ヶ沢町奉行所・御飯屋跡

〈お問い合わせ〉
鱒ヶ沢町観光協会
TEL/0173-72-5004
深浦町観光協会
TEL/0173-74-3320



船舶の安全を図るため設置された「常灯(灯台)」の記念碑(白八幡宮境内)

白八幡宮と京風まつり
 鰯ヶ沢港を一望する高台に白八幡宮がある。御影石の玉垣は、諸国の廻船問屋などが奉納したもので、塩飽(瀬戸内海の諸島・大坂・加賀・越前などの寄進者の名前に鰯ヶ沢湊の交易の広さが偲ばれる。社殿には、船乗りたちが奉納した船絵馬が掲げられている。「江戸時代以来の和船、明治の和洋折衷船(合の子船)、さらに洋船へと変

船ゆかりの街歩きが楽しめる、まるごと博物館のような街だ。



「津軽の京祭り」とも呼ばれる白八幡宮大祭

今に生きる 大航海ロマンが伝えた文化



船絵馬が並ぶ白八幡宮社殿

江戸時代後期から明治にかけて、日本海西廻り航路で行き来した北前船。行きは上方・大坂からさまざまな日常生活品を積み、帰りは蝦夷地(北海道)で買い付けたニシン・昆布・シメ粕などを積んで、途中の湊で商売をしながら航海した。船頭が自分の才覚で商品を売買する買積船で、いわば「動く総合商社」である。商人らの交易により、酒造りや廻造りなどの技術も広まった。海の路は、物だけでなく技や祭りなどさまざまな文化も運んだのである。

藩米の積み出し湊 鰯ヶ沢

鰯ヶ沢湊は江戸時代、弘前藩の藩米を大坂に積み出す御用港として栄えた。文化年間(一八〇四〜一八)以前に描かれた『鰯ヶ沢町絵図』(光信公の館蔵)を見ると、かつて町奉行所が置かれていた高台下が船着場だったことがわかる。宝暦年間(一七五一〜一七四)には、十二軒の廻船問屋が建ち並んでいたというから湊の賑わいはどれほどのものであったろう。数度にわたる埋め立て工事で海岸線の景観



鰯ヶ沢町絵図(光信公の館蔵、部分拡大)。町の中心に御飯屋(奉行所)があり、その前の海が船着場となっている

は変わったものの、絵図と現在の街がほとんど変わっていないことにも驚く。鰯ヶ沢は、二百年前の絵図を片手に北前

北前船コラム

北前船により伝えられた菓子

くじらもち



江戸時代の菓子専門書『古今名物御前菓子秘伝抄』に京菓子として紹介されている鯨餅は、北前船で伝わった食文化のひとつ。鎖国時代、唯一の外国貿易港だった長崎で、表面が黒く裏が白い、鯨に似た餅菓子が作られており、それが各地に伝わったともいわれる。かつて町には鯨餅を扱う4軒の店があったというが、現在は「本舗村上屋」が伝統の味を受け継いでいる。

遷する様子を通じて当時の鰯ヶ沢湊の海運を知ることができます」と、白八幡宮の工藤

等宮司は語る。四年に一度行われる「白八幡宮大祭」は、北前船によって伝わった京風



円覚寺に奉納されている鬚額

折りのシンボル 円覚寺

八〇七年に坂上田
村麻呂が創建したと
される円覚寺は、江
戸時代、弘前藩主ら
の庇護と共に、航海

で、対馬海流にうまく乗れば
蝦夷地も遠くはなかった。当
時、円覚寺裏の丘「日和見山」
に上って海を見渡し、出航の
日和を決めたという。沖合の
「港の一本杭」は、北前船が
綱を掛け、碇泊場所を移動さ
せた名残り。中沢橋のたもと
を山手に折れると、北前船に
飲み水として積み込まれた「神
明宮トヨの水」があり、今も
人々が水を汲みに来る。



円覚寺に奉納されている船絵馬。
北国船と呼ばれる北前船以前の型式が描かれている (写真提供: 円覚寺)



円覚寺

北前船コラム

船乗りたちの命を救った 円覚寺の竜灯杉

円覚寺の境内
に、樹齢1200年
と推定される杉
の大木がある。
江戸時代、深浦
沖で暴風雨に遭
った船乗りが鬚
を切り一心に神
仏に願ったところ
から一条の光が
放たれ、船は光
に導かれて無事



に港に辿り着くことができたという。そ
うした伝説から竜神が宿る杉だと崇めら
れ、竜灯杉の名がついた。

安全を守護する瀧口観音とし
て全国の海運業者の信仰を集
めた。「嵐になると帆柱を切
り倒して荷物を海に投げ、そ
れでもどうしようもなくなる

と船乗りたちは自分の鬚を切
り落としザンバラ髪になつて
神仏の加護を一心に祈つたの
だそうです」と語るのは、副
住職の海浦誠観さん。同寺寺



深浦町の中心部に湧く「神明宮トヨの水」



来生寺



願行寺

北前船が運んだ 俳諧文化

弁天崎の道を曲が
ると寺院街が続く。
明治二十年に本堂を再
建した願行寺には、
北前船にまつわる不
思議なエピソードが
ある。明治十六年、越前沖で
沈没した金比羅丸に積んでい
た材木のうち、二本の樫が鯨
ヶ沢沖合に流れ着いた。星型
の五環紋から、東本願寺再建
のために運搬中の材木と判明。
不思議な旅の果てに、二本の
うち一本は本山に運ばれて御

影堂の用材となり、もう一本
は願行寺で使われることとな
り柱や梁として本堂を支えて
いる。
ところで、町内の寺院を巡
っていると、辞世の句が刻ま
れた墓石が多いことに気づく。
海に開けた西浜では、日本海
交易と共に俳諧がさかんにな
った。廻船問屋の池田晋安は、
享保七年(一七二二)に句集
『そのの浜』を出版。松尾芭
蕉につながる正風俳諧を打ち
立てようとした。来生寺には、
文化一〇年(一八一三)の『萬
家人名録』にも名を連ねた俳
人・小野化石の句碑(化石塚)
がある。北前船は西浜に文化

風待ち湊 深浦

深浦町の行合崎は、
日本海に細長く突き
出た岬。北前船が行
き交うことから、こ
の名が付けられた。深浦湊は
行合崎と入前崎に囲まれ、北
前船の「風待ち湊」として役
割を担ってきた。巾着型の湊
は荒天の避難所として好都合

清らかな水が 湧き出る港町

山に抱かれた鯨ヶ
沢町は、湧き水も豊
富である。「尾崎酒造」
は、万延元年の創業
以来、白神山地の伏
流水で酒を仕込む。蔵の裏手
に迫る山肌からは清らかな湧
き水が流れ、蔵人たちは「山
の水」と呼んで大切にしてい
た。十三代目尾崎行一社長の
ご先祖も、福井から北前船で
やってきた一人。西浜唯一の
酒蔵として、伝統の味を守っ
ている。

港町 “あじがさわ” 歴史散策

北前船ふれあい
GUIDE



海ノ駅↓街なかギャラリー(中央公民館)↓町奉行所跡↓白八幡宮↓鯨餅店↓漁港・市場↓海ノ駅赤い靴銅像)を約1時間で散策する。また、寺院街・天童山を散策後、買い物を含めた1時間30分のコースもある。ガイド料金は1人1,000円(ガイド料+記念品の相撲館の絵はがき)。3日前までに要予約

【問合せ】鯨ヶ沢町観光協会
TEL0173(72)5004

深浦町 観光ガイド 風まち湊案内人

北前船ふれあい
GUIDE



深浦駅↓深浦町歴史民俗資料館・美術館↓ふかうら文学館↓風待ち館↓円覚寺↓深浦駅を散策する3時間コースと、4時間30分コースがある。ガイド料金は3時間コース大人2300円、小中学生1610円。4時間30分コース大人2800円、小中学生2110円。※各施設の入館料・拝観料含む。前日までに要予約

【問合せ】深浦町観光協会
TEL0173(74)3320



■街なかギャラリー(鯨ヶ沢町中央公民館)

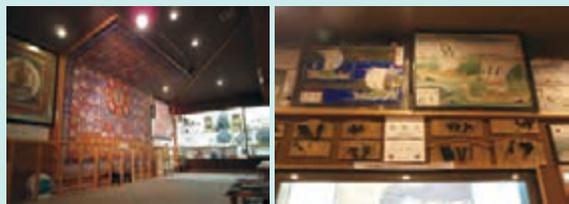
北前船交易で栄えた港町鯨ヶ沢の街歩きの新たな観光スポット。江戸時代の町絵図や白八幡宮所蔵の船絵馬(複製)などを展示するほか、随時、企画展を開催。

【開館時間】8時15分~17時 ※休館日…年末年始

【入館料】無料

【所在地】鯨ヶ沢町大字本町209-2

【問合せ】鯨ヶ沢町中央公民館 TEL0173(72)2859



■円覚寺寺宝館

北前船にまつわる国重要有形民俗文化財・円覚寺奉納海上信仰資料(船絵馬・髻額)など、千年以上の歴史を有する円覚寺の貴重な寺宝を展示。

【拝観時間】(4月~11月)8時~17時 (12月~3月)8時~16時

【拝観料】大人400円、高校生250円、小・中学生100円

【所在地】深浦町深浦字浜町275 【問合せ】TEL0173(74)2029



■風待ち館

北前船の模型をはじめ、船によって運ばれた文化について解説。古伊万里や仏壇、生活道具など往時を偲ばせる貴重な資料も。総合観光案内所も兼ねているので、散策のはじめに立ち寄りたい。

【開館時間】9時~17時(年中無休)

【入館料】一般300円、高・大学生200円、小・中学生100円

【所在地】深浦町深浦字浜町272-1【問合せ】TEL0173(74)3553

日本海沿いは 表日本だった

円覚寺には、天保十一年(一八四〇)の俳諧額など、この地の俳諧文化の高揚を物語る奉納物も多い。明和四年(一七六七)に、大高千〇と若狭屋の竹越里主らが、宝泉寺に芭蕉塚「千鳥塚」を建立。里主は翌年京都に上り、「千鳥塚」を出版。各地の文化人との交流を描いた紀行文『高砂子』が、円覚寺に残されている。竹越家には菅江真澄も逗留し、『外ヶ浜奇勝』に記した。「江戸時代の深浦には、上方の情報を的確にと



かつて北前船が往来した行合崎

宝館には、無事に生還した船乗りたちが奉納した「髻額」や、船絵馬などが展示されている。国内唯一の北国船の絵馬、北前船の豪商・高田屋嘉兵衛が奉納したギヤマン飾玉、福井の笏谷石で造られた宝篋印塔など、人々の折りと深い信仰があふれている。



風待ち館に飾られた「海路図」の一部



北前船で運ばれた商品の宣伝に使われた「引札」(風待ち館所蔵)

らえ表現できる一流の人たちがいた。北前船によって文化

潮の香りを感
じながら、港と共に歩
んだ町を私たちと散策しま
せんか。深浦の歴史、ゆかり
の文学をじっくりと。お一人か
らでもご案内いたします。
(兼平祥子さん)



深浦町観光ガイド 風まち湊案内人

街の歴史 ミュージアム

円覚寺の隣には、総合観光案内所「風待ち館」がある。七百石積弁才船を三分の一の縮尺で複製した模型や、北前船で運ばれた古伊万里など、北前船に関するさまざまな展示を行っている。その他、太宰治が宿泊した旧秋田屋旅館を利用した「ふかうら文学館」、町の歴史がわかる「深浦町歴史民俗資料館・美術館」などもある。

円覚寺の隣には、豊かな土壌が醸成され、豊かな交流があった日本海沿いは、まさに表日本だったんですね」と同寺の海浦由羽子さんは語っている。

奥津軽歴史史玉手箱

五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、板柳町、鶴田町、中泊町

奥津軽には古代から近現代までの幅広い時代の歴史遺産がまだまだたくさんあります。訪ね歩いて、土地の雰囲気や先人たちの生きざまを、よりしっかりと感じてみてはいかがでしょうか。

【五所川原市】

津軽地方の豪農の家

楠美家住宅

〈地図P8B13〉

津軽地方の豪農、楠美家の住居。隣接する蔵では楠美家の生活用品や史跡・五所川原須



明治の大富豪の邸宅を再現

商都五所川原歴史館

「布嘉屋」

〈地図P8B13〉

東北でも三本の指に入るといわれる五所川原市の大富豪佐々木嘉太郎の「布嘉御殿」を佐々木移設社長、佐々木治さんがミニチュア模型として再現し、展示している。

【開館時間】10時～16時

※休館日：毎週月曜日（予約のみ開館）、冬期間（11月11日～4月19日）

【所在地】五所川原市一ツ谷515

TEL0173(34)7670



恵器窯跡の出土品などを展示している。五所川原市有形文化財に指定されている。

【開館時間】9時～16時

※休館日：冬期間（12月1日～3月31日）

【所在地】

五所川原市持子沢字隠川695-4

（狼野長根公園内）

TEL0173(29)3575

築二百年の茅葺屋根住居

旧平山家住宅

〈地図P8B13〉

弘前藩広田組代官所の手代を務めた平山家の住居。津軽地方最古の建造物で、主門と裏門は国重要文化財に指定されている。

【開館時間】9時～16時

※定休日：月曜、祝日の翌日、冬期間（12月1日～3月31日）

【所在地】

五所川原市湊字千鳥144-1

TEL0173(34)8870

円筒式土器、大和しじみなどが多数出土

オセドウ貝塚

〈地図P8B12〉



五所川原市相内地区の神明宮境内にある縄文時代前・中期の貝塚。大正十四年に人骨一体が出土した。

【所在地】五所川原市相内

【つがる市】

自然が生み出した巨大博物館

最終氷期埋没林

〈地図P8B13〉

出来島海岸沿いの断崖には最終氷期に林立していた針葉樹などが泥炭層によってパツク保存されており、当時の植生を現代に伝えている。

【所在地】つがる市木造出来島地内



【所在地】

五所川原市湊字千鳥144-1

TEL0173(34)8870

総ヒバ造りの豪邸

旧津島家住宅

（太宰治記念館「斜陽館」）

〈地図P8B12〉

太宰治の生家を活用した記



長く連なる赤い鳥居が圧巻

高山稲荷神社

〈地図P8B12〉

農業・漁業・商業の職業神として知られ、県内外から参拝者が訪れる。長く連なる赤い鳥居は見どころの一つである。境内入口手前左側の高台には、百二十年前につがる市沖

奥津軽の歴史ある寺

西の高野山弘法寺

〈地図P8B13〉



真言宗の寺院。和歌山県の高野山に対して、極楽浄土を表す西をもって「西の高野山」を名乗る。開創から約九百年という歴史を持つとされ、六百余年前の住職の位牌や大正七年に建立された修行大師の石像などがある。

【所在地】つがる市木造吹原風山1-244

念館。太宰の直筆原稿や愛用品などが展示され、国重要文化財に指定されている。

【開館時間】5～10月8時30分

18時、11月～4月9時～17時

（最終入館30分前）

※休館日：12月29日

【所在地】五所川原市金木朝日

山412-1

TEL0173(53)2020



で沈没した米貨物船チエスポート1号遭難慰霊碑がある。

【所在地】つがる市牛瀉町鷺野沢147-1

新田開発の折願所

三新田神社

（地図P8B13）



弘前藩四代藩主・津軽信政公が、木作・金木・俵元の三新田開発の祈願所とした神社。明治二十八年に現在の社名、「三新田神社」へと改称された。
【所在地】つがる市木造千代町

新田開発の拠点

木作御飯屋・代官所跡

（地図P8B13）

代官所は弘前藩が津軽平野北部の新田開発の拠点とした役所、御飯屋は藩主が西海岸地方や新田を巡検した際の在所である。現在は銀杏ヶ丘公園



園になっており、その一角には弘前藩四代藩主津軽信政公が植えた大イチョウ（つがる市指定文化財）がある。
【所在地】つがる市木造千代町（銀杏ヶ丘公園内）

大正初期に建築

旧高谷銀行本店

（地図P8B13）



一八一一年に再建された、曹洞宗の高沢寺裏にある西浜地方屈指の規模と景観を誇る武学流の庭園。池島には松尾芭蕉の句を刻んだ翁塚がある。
【所在地】鯉ヶ沢町大字七ツ石町12（高沢寺敷地内）

武学流の大規模な庭園

高沢寺庭園（瀧廣園）

（地図P8B13）



町の歴史やアートを紹介

深浦町

（地図P9A14）

民俗資料館と美術館が併設。

大正初期の銀行建物。様式にこだわらない自由で独特なデザインが特徴。国登録有形文化財に指定されている。現在、内部は農薬会社の倉庫として使用されている。
【所在地】つがる市木造千代町34-2

昭和初期の建築

旧制木造中学校講堂

（地図P8B13）



昭和初期に建設された旧制木造中学の講堂。つがる市の指定文化財。現在木造中央公民館の付属施設として利用されている。
【所在地】つがる市木造曙54-1

【鯉ヶ沢町】

津軽藩発祥の地

種里城跡

（地図P9A13）



津軽藩の始祖とされる大浦光信の居城跡。城内には光信公御廟所や歴史資料館「光信公の館」がある。国史跡に指定。
【開館時間】（光信公の館）5～8月9時～17時、9～10月9時～16時30分
※休館日：11月～4月、5月～10月の月～木曜日（ただし、ゴールデンウィーク、5月中旬～6月上旬のボタン祭り開催中は無休）
【所在地】鯉ヶ沢町大字種里町大柳90
TEL0173(79)2535



考古資料や民俗資料を展示

板柳町立郷土資料館

（地図P8B13）



縄文時代後期土井遺跡出土の岩偶・土偶や、弘前藩士着用の鎧、大正～昭和期の民具などを展示している。
【開館時間】9時～16時
※休館日：月・水・金曜

石田三成ゆかりの史跡

深味八幡宮

（地図P8B13）

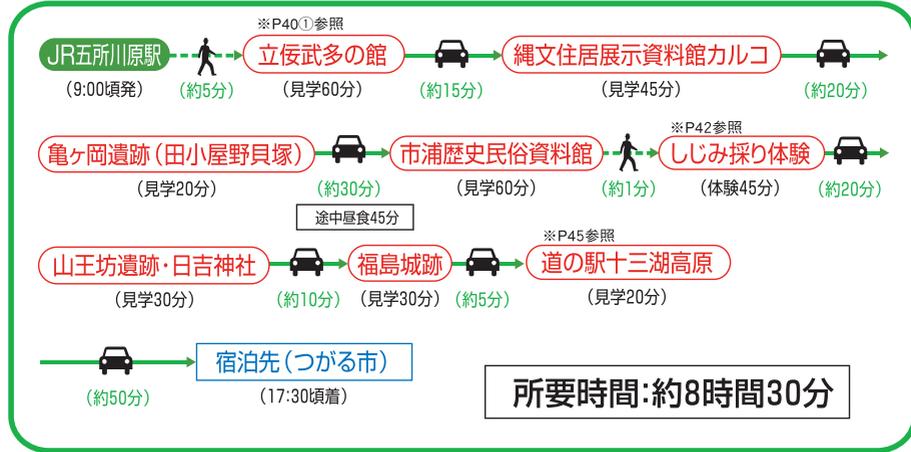


関ヶ原の戦いで敗れた石田三成の次男重成が隠れ住んだ地域にある、石田家ゆかりの神社。杉山八幡宮ともよばれる。
【所在地】板柳町大字深味字深宮60

奥津軽の多彩な歴史遺産を存分に堪能できるおすすめモデルコースを紹介します。旅の参考にされてみてはいかがでしょうか？

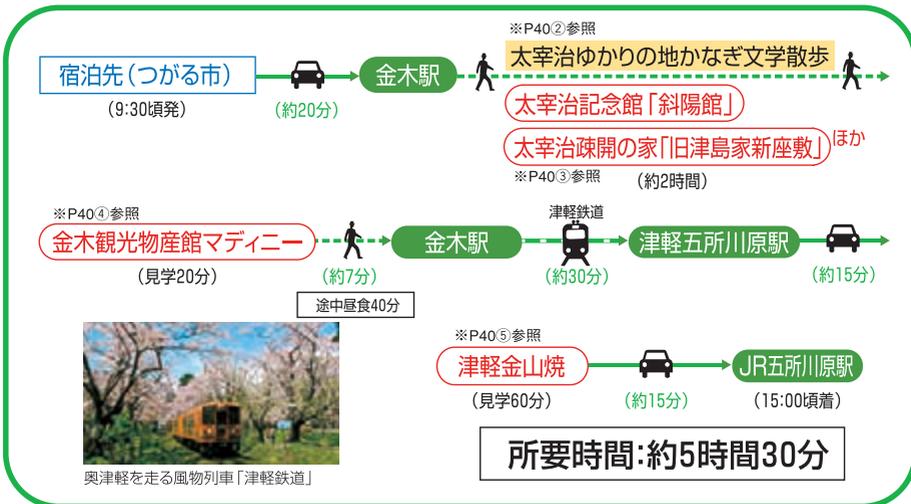
縄文・亀ヶ岡 中世・十三湊 **遮光器土偶のふるさとと探訪 (1泊2日コース)**

〈1日目〉



- お食事は、十三湖周辺のしじみラーメン提供店(P43参照)等をご利用いただけます。
- おみやげは、立佞武多の館、道の駅十三湖高原等をご利用いただけます。

〈2日目〉



- お食事は、斜陽館周辺飲食店等をご利用いただけます。
- おみやげは、金木観光物産館マディニー、津軽金山焼等をご利用いただけます。
- 津軽鉄道をご利用の際は、自動車回送サービス(有料)もご利用いただけます。(問い合わせ:0173-34-2148)

奥津軽歴史探訪

おすすめモデルコース案内

※所要時間は概ねの目安であり、交通事情等により異なります。

【鶴田町】

江戸時代以来の地域の水がめ

廻堰大溜池

〈地図P8B1-3〉

弘前藩四代藩主・津軽信政公の時代に造られた溜池で、通称津軽富士見湖。全長三〇〇メートルの「鶴の舞橋」は、三連大鼓橋では日本最長。
【所在地】鶴田町大字廻堰字大沢



【中泊町】

津軽半島の歴史と未来を展望

中泊町博物館

〈地図P8B1-2〉



中泊町総合文化センター「パルナス」内にある博物館。考古・文献・民俗資料を中心に約三万八千点を収蔵する。

【開館時間】9時～17時
【休館日】月曜日
【所在地】中泊町大字中里字紅葉坂210
TEL0173(69)1111

中里城遺跡(中里城跡跡公園)

〈地図P8B1-2〉

津軽中山山脈より西方に派生する台地とその周辺部に位置する遺跡。平安時代の竪穴跡や空濠跡などのほか、縄文

徐福の里公園

〈地図P8B1-1〉

権現崎には秦の始皇帝の時



徐福伝説があり石像も建立

江戸時代の遺物が見つかったという。青森県史跡に指定。
【所在地】中泊町大字中里字亀山



みちのく松陰道

〈地図P8B1-1〉



吉田松陰が津軽海峡の防衛検分のために歩いたとされる道は、みちのく松陰道と呼ばれる。
【所在地】みちのく松陰道入口
中泊町大字小泊字傾り石2

食

シャコちゃん 縄文弁当

地元の食材で作った料理を、縄文土器型の器に盛った弁当。つがる市役所となり、カルコ横の「華かるこ」で販売。(2日前までに要予約) 1個980円
(TEL)0173(42)5565
(住所)つがる市木造若緑59-1



P10—11
地図参照

土産

縄文つがる

県産米と白神山地の水で作ったシャコちゃん型の陶器入り清酒。「葛西酒店」で販売。箱入り3000円
(TEL)0173(42)2443
(住所)つがる市木造桜木17-7



食

つがる縄文鍋

縄文うどんがベースの鍋。「稲垣温泉ホテル花月亭」でプラン予約の方限定で味わえる。日帰りプラン4200円～、宿泊プラン8550円～
(TEL)0173(46)2821
(住所)つがる市稲垣町豊川宮川3の4



土産

菓子「シャコちゃん 縄文」シリーズ

シャコちゃんをイメージしたサブレ、クッキー、せんべい、もちの4種類。「道の駅もりたアーストップ」と「華かるこ」で販売。130円～(間)道の駅もりた (TEL)0173(26)4488



しゃこちゃんせんべい

地元産の米粉と小麦粉を使ったシャコちゃんのおせんべい。「街の駅あるびょん」で販売。2枚入り120円。
(TEL)0173(42)8333
(住所)つがる市木造千代町36



工芸

津軽亀ヶ岡焼 「しきろ庵」

津軽亀ヶ岡焼は、つがる市の戸広臣さんが作る辰砂釉や縄文文様を彫り込んだ焼き物。亀ヶ岡考古資料室近くの窯元「しきろ庵」で販売。
(TEL)0173(45)3452
(住所)つがる市木造館岡上沢辺21



ガイド

定期観光 バスツアー

ニッコウキスゲが見頃の、6月限定のバスツアー。ガイドとともにつがる市の観光スポットを巡る。
大人1500円、中学生以下1000円
(間)つがる市観光協会(市役所商工観光課内)
(TEL)0173(42)2111(代表)



温泉

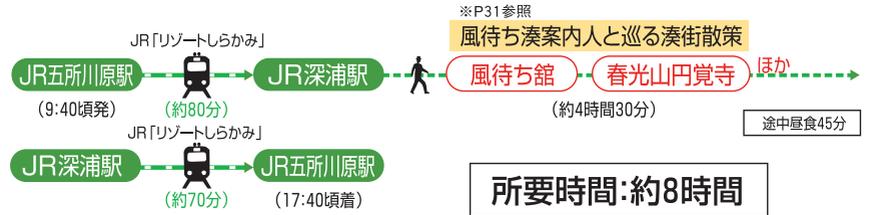
しゃこちゃん温泉

つがる市役所向かいのシャコちゃんの名前がついた温泉。泉質は単純冷鉱泉。
大人320円、子供150円、幼児60円
(TEL)0173(42)1277



歴史と一緒に楽しみたい！
便利情報

近世・北前船 風待ち湊“深浦”の史跡探訪 (1日コース)



※夕陽がきれいなウェスバ椿山、青池で有名な十二湖方面まで足を延ばす場合には、深浦駅から秋田行きの「リゾートしらかみ」を利用できます。(季節や曜日により運転日が異なります。)

- お食事は、深浦駅周辺の飲食店、円覚寺前の門前こみせ(P44参照)等をご利用いただけます。
- おみやげは、風待ち館等をご利用いただけます。

モデルコースの立ち寄り観光ポイント ご案内

① 立佞武多の館



大型立佞武多を常設展示しているほか、紙張りや色付けなどの製作体験も楽しめる。
【住所】五所川原市大町21-1 【TEL】0173(38)3232
※JR五所川原駅から徒歩約5分

② 太宰治ゆかりの地かなぎ文学散歩



太宰治生誕地の五所川原市金木地区のゆかりの地を地元ガイドと巡る。料金2400円(2時間コース、2人以上申込、3日前までに要予約)

【TEL】0173(53)2020(かなぎ元気倶楽部)

③ 太宰治疎開の家「旧津島家新座敷」



太宰の長兄夫婦のために建てられた座敷。終戦直前、太宰治一家はここに疎開していた。

【住所】五所川原市金木町朝日山317-9 【TEL】0173(52)3063
※津軽鉄道金木駅から徒歩約4分

④ 金木観光物産館マディニー



周辺観光スポットの紹介や津軽半島の特産品の販売などを行っている。斜陽館向かい。
【住所】五所川原市金木町朝日山195-2 【TEL】0173(54)1155
※津軽鉄道金木駅から徒歩約7分

⑤ 津軽金山焼



深みと独特の風合いをそなえた津軽地方の焼き物。窯では見学や陶芸体験もできる。
【住所】五所川原市金山字千代鶴5-79 【TEL】0173(29)3350
※JR五所川原駅から車で約15分



⑥あおり観光マスコットキャラクター「いくべ」



十三湖しじみラーメン

十三湖は天然「大和しじみ」の一大産地。世界遺産白神山地を源流とする岩木川と日本海の海水が交じりあう汽水湖で育ったしじみは、粒が大きく味が濃厚となる絶好の生育環境にあります。この新鮮なしじみを使用したご当地しじみラーメンは、深みがありながらあっさりとした塩味ベースで、肝臓を癒し貧血予防に効果がありますので、ぜひ味わってみてください。

しじみラーメンが食べられるお店

〈五所川原市〉

①みなと屋

住所:五所川原市十三深津231
TEL:0173-62-2378
営業時間:11時~17時

②三六

住所:五所川原市十三深津182-1
TEL:0173-62-3805
営業時間:11時~20時

③ドライブイン和歌山

住所:五所川原市十三羽黒崎133-22
TEL:0173-62-2357
営業時間:4~11月 9時~18時、
12~3月 9時~17時

④入船

住所:五所川原市十三羽黒崎133-20
TEL:0173-62-2363
営業時間:4~10月 11時30分~15時、
11~3月 11時30分~14時

⑤とさや

住所:五所川原市十三五月女菀15
TEL:090-3126-9513
営業時間:4~11月 8時~17時

⑥仁徳

住所:五所川原市十三五月女菀15
TEL:0173-62-3605
営業時間:4~11月 9時~17時

⑦新岡商店

住所:五所川原市十三五月女菀15
営業時間:4~11月 8時~17時

⑧岩亮

住所:五所川原市十三五月女菀14-3
TEL:0173-62-3393
営業時間:4~10月 8時~19時、
11~3月 8時~17時

⑨レストランなかのしま

住所:五所川原市十三土佐1-298
TEL:0173-62-3670
営業時間:4~11月 8時~17時

⑩レストランわらび

住所:五所川原市相内実取287-1058
(道の駅十三湖高原内)
TEL:0173-62-3710
営業時間:4~10月 10時30分~17時30分、
11~3月 10時30分~16時

⑪ラーメン&コーヒーぽっぽ家

住所:五所川原市金木町芦野90-1
(津軽鉄道金木駅舎2階)
TEL:0173-52-5880
営業時間:10時~19時

〈中泊町〉

⑫はくちょう亭奈良屋

住所:中泊町大字今泉字唐崎255
TEL:0173-58-2816
営業時間:9時~17時

⑬しじみ亭奈良屋

住所:中泊町大字今泉字唐崎255
TEL:0173-58-3581
営業時間:9時~18時

※定休日は店舗によって異なります。
あらかじめお問い合わせください。



食

しじみ握りずし

十三湖産のしじみを寒天で固めシャリにのせた握りずしなど。五所川原市金木町の「奴寿し」で販売。握り、軍艦各2巻と巻きもの1本のセットで1300円。
(TEL) 0173 (52) 2039
(住所) 五所川原市金木町朝日山468-1
(津軽鉄道金木駅から徒歩10分)



土産

十三湖しじみ貝ストラップ

その昔、十三の湊町が津波により一夜にして壊滅し、その悲惨さを空を舞うカラスが哀れ悲しんで流した涙が十三湖のしじみ貝となったと伝えられている。そんな十三湖のしじみ貝の貝殻で作ったストラップ。五所川原市「立佞武多の館」と「道の駅十三湖高原」でそれぞれ販売。



〈立佞武多の館〉
「開運しじみ貝運ストラップ」
(左) 550円と(右) 880円
(TEL) 0173 (38) 3232
(JR五所川原駅から徒歩5分)

〈道の駅十三湖高原〉
「しじみストラップ」(左)
420円と(右) 1050円
(TEL) 0173 (62) 3556



P16—17
地図参照

体験



しじみ採り体験

毎年4月下旬から10月上旬にかけて、中の島ブリッジパークのしじみ拾い場でしじみ採り体験が楽しめる。1袋300円
(問)中の島活性化センター
(TEL)0173(62)2775

遊ぶ



し〜うらんど海遊館

東北唯一の本格的なタラソテラピー施設。体温と同じ温度に温められた海水を利用したプールでのウォーキングやマッサージコーナーなど、様々なアトラクションで身体を

リフレッシュできる。大人1000円、小人500円
(TEL)0173(27)7373
(住所)五所川原市磯松山の井115-126

祭



十三の砂山まつり

青森県で一番古い港「十三湊(とさみなと)」の往時の面影を偲ぶ民謡「十三の砂山」は、か細く染みとおるような哀調を帯び、心のふるさとを呼び戻し昔人の霊を慰める鎮魂の唄のようにも聞こえる。

十三の砂山まつりでは、民謡に合わせた流し踊りやしじみ採り体験などが行われる。

(問)まつり実行委員会事務局 (TEL)0173(62)2378
【期間】毎年8月14日~15日

おみやげ & 食事スポット

旅のお土産を買ったり、食事を気軽に楽しむには道の駅や海の駅などが便利。地元の採れたて野菜や果物などを販売しているところもあります。ぜひお立ち寄りを!



つがる市マスコットキャラクター「つがるちゃん」

(つがる市)



「道の駅もりた」アーストップ

つがる市森田町床舞稚桜4-1 (TEL)0173(26)4488
<http://www.earthtop.jp/>

(深浦町)



「道の駅ふかうら」かそせいか焼村

深浦町大字風合瀬字上砂子川1144-1
(TEL) 0173(76)3660 <http://www.kasose-ikayakimura.com/>

(鶴田町)



「道の駅つるた」鶴の里あるじゃ

鶴田町大字境字里見176-1 (TEL) 0173(22)5656
<http://www.tsurunosato-aruja.com/>

(五所川原市)



「道の駅十三湖高原」トーサムグリーンパーク

五所川原市相内実取287-110 (TEL) 0173(62)3556
<http://www.tosam.co.jp/>

(鰯ヶ沢町)



海の駅わんど

鰯ヶ沢町大字本町246-4 (TEL) 0173(72)6661
<http://www.ajigasawa.info/wando/uminoekitop.html>

(板柳町)



板柳町ふるさとセンター

板柳町大字福田野字本泉34-6 (TEL) 0172(72)1500
<http://www.town.itayanagi.aomori.jp/town/furusato/index.html>

(中泊町)



「道の駅こどもり」ポントマリ

中泊町大字小泊字折腰内45 (TEL) 0173(27)9300
<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm/13,1141,41,50.html>

土産



鯨餅

北前船によって伝えられた。自家製粉したうるち米に、餅米の粉と小豆、砂糖を混ぜて蒸し上げる逸品。330円。
(問) 本舗村上屋
(TEL) 0173(72)3021
(住所) 鰯ヶ沢町大字本町72

土産

北前船伝承天然醸造味噌「白神岳」

北前船によって伝えられ、自家製石臼、わらかけ製法で代々引き継がれてきた無添加の味噌。450g 525円、750g 840円。
(問) 小浜屋醸造 (TEL) 0173(74)2527
(住所) 深浦町大字深浦字浜町172-2



土産



元祖 瀧口観音もち

深浦町の円覚寺の門前で、昭和初期に販売されていた商品を復刻。オリジナル、黒ごま、味噌の3種類。深浦町の「風待ち館」や「ウェスバ椿山」で販売。各130円。
(問) 深浦町観光協会 (TEL) 0173(74)3320

食



北前そば

門前こみせ

円覚寺向かいにある青森の伝統建築「こみせ」を模した売店。そば処「かまど屋」では北前そばなどが味わえる。北前そば650円
(住所) 深浦町大字深浦字浜町28-1



北前船



P24—25
地図参照

土産



浪花煎餅

江戸時代、大坂の商人が製造を始め鰯ヶ沢町の名産品に。上白糖をすり蜜にする製法を引き継ぎ、「銘菓の店山ざき」が昭和3年から製造販売。157円。
(TEL) 0173(72)2002
(住所) 鰯ヶ沢町大字本町59

土産

町内の老舗

「尾崎酒造」は万延元年創業。白神山地の伏流水と県産米を使って醸造しており、「安東水軍」「神の座」などのファンも多い。
(TEL) 0173(72)2029
(住所) 鰯ヶ沢町大字漁師町30



神の座 安東水軍

「天然醸造味噌醤油 大澤醸造店」は、明治21年創業。濃い口でコクのある醤油は、お刺身や煮魚との相性抜群!

(TEL) 0173(72)2007
(住所) 鰯ヶ沢町大字本町59



大澤醸造店

《コテージタイプ》

ウェスパ椿山

- 住所／深浦町大字船作字鍋石226-1
- TEL／0173-75-2261
- 客室数／20室
- 収容人数／100名
- ホームページ／<http://www.wespa.jp/>
- 駐車場／無料200台

アオーネ白神十二湖

- 住所／深浦町大字松神字下浜松14
- TEL／0173-77-3311
- 客室数／27棟
- 収容人数／162名
- ホームページ／<http://www.shirakami-jyuniko.jp/>
- 駐車場／無料100台

十二湖リフレッシュ村

- 住所／深浦町大字松神字下浜松14
- TEL／0173-77-3311
- 客室数／14棟
- 収容人数／84名
- ホームページ／<http://www.shirakami-jyuniko.jp/refre/refre-index.html>
- 駐車場／無料30台

その他宿泊情報は
各市町の観光協会に
お問い合わせください

(社) 五所川原市観光協会

TEL／0173—38—1515

つがる市観光協会

(つがる市役所商工観光課内)
TEL／0173—42—2111 (代表)

鯉ヶ沢町観光協会

TEL／0173—72—5004

深浦町観光協会

TEL／0173—74—3320

板柳町観光物産協会

(板柳町商工会内)
TEL／0172—73—3254

鶴田町観光協会

(鶴田町商工会内)
TEL／0173—22—3414

小泊観光協会

TEL／0173—64—3700

鯉ヶ沢温泉水軍の宿

- 住所／鯉ヶ沢町大字舞戸町字下富田26-1
- TEL／0173-72-6511
- 客室数／20室
- 収容人数／80名
- ホームページ／<http://sugisawa.co.jp/suigunnoyado/>
- 駐車場／無料80台

鯉ヶ沢温泉ホテル山海荘

- 住所／鯉ヶ沢町大字舞戸町字上富田116-1
- TEL／0173-72-5111
- 客室数／26室
- 収容人数／120名
- ホームページ／<http://sugisawa.co.jp/sankaiso/>
- 駐車場／無料30台

ナクア白神ホテル&リゾート

- 住所／鯉ヶ沢町鯉ヶ沢高原
- TEL／0173-72-1011
- 客室数／188室(洋室)
- 収容人数／376名(最大559名)
- ホームページ／<http://www.naqua-shirakami.jp/>
- 駐車場／無料3000台

深浦町

《温泉ホテル・旅館タイプ》

黄金崎不老ふ死温泉

- 住所／深浦町大字船作字下清滝15
- TEL／0173-74-3500
- 客室数／70室
- 収容人数／350名
- ホームページ／<http://www.furofushi.com/>
- 駐車場／無料200台

みちのく温泉旅館

- 住所／深浦町大字船作字鍋石76-2
- TEL／0173-75-2011
- 客室数／49室
- 収容人数／160名
- ホームページ／<http://fukaura.sub.jp/michinoku-onsen/>
- 駐車場／無料70台

深浦観光ホテル

- 住所／深浦町大字深浦字岡崎338-42
- TEL／0173-74-3511
- 客室数／43室
- 収容人数／230名
- ホームページ／<http://www2.ocn.ne.jp/~fukaura/>
- 駐車場／無料50台

観光ホテル夢野温泉

- 住所／五所川原市大字持子沢字隠川686
- TEL／0173-29-3153
- 客室数／14室
- 収容人数／60名
- 駐車場／無料40台

つがる市

《温泉ホテル・旅館タイプ》

稲垣温泉ホテル花月亭

- 住所／つがる市稲垣町豊川宮川3-4
- TEL／0173-46-2821
- 客室数／29室
- 収容人数／120名
- 駐車場／無料50台

柏口マン荘

- 住所／つがる市柏上古川房田178
- TEL／0173-27-5055
- 客室数／12室
- 収容人数／52名
- ホームページ／<http://www.city.tsugaru.aomori.jp/sisetu/00016.html>
- 駐車場／無料50台

つがる地球村

- 住所／つがる市森田町床舞藤山244
- TEL／0173-26-2855
- 客室数／洋室2室、和室11室、コテージ5棟
- 収容人数／51名
- ホームページ／<http://www.chikyuumura.co.jp>
- 駐車場／無料60台

鯉ヶ沢町

《温泉ホテル・旅館タイプ》

鯉ヶ沢温泉
ホテルグランメール山海荘

- 住所／鯉ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸1
- TEL／0173-72-8111
- 客室数／79室
- 収容人数／380名
- ホームページ／<http://sugisawa.co.jp/grandmer/>
- 駐車場／無料200台

五所川原市

《シティホテルタイプ》

ホテルサンルート五所川原

- 住所／五所川原市布屋町25
- TEL／0173-34-8811
- 客室数／96室
- 収容人数／116名
- ホームページ／<http://www.sunroutehotel.jp/goshogawara/>
- 駐車場／無料40台

ホテルサンルートパティオ五所川原

- 住所／五所川原市字田町181-1
- TEL／0173-33-3333
- 客室数／119室
- 収容人数／136名
- ホームページ／<http://www.sunroutehotel.jp/patio-goshogawara/>
- 駐車場／無料60台

パークイン五所川原エルムシティ

- 住所／五所川原市大字唐笠柳字藤巻66-12
- TEL／0173-34-8910
- 客室数／137室
- 収容人数／147名
- ホームページ／<http://www.parkinn-elm.co.jp/>
- 駐車場／無料130台

《温泉ホテル・旅館タイプ》

湯元津軽富士見ランドホテル

- 住所／五所川原市大字羽野木沢字隈無240-163
- TEL／0173-29-3260
- 客室数／15室
- 収容人数／60名
- ホームページ／<http://www.oyuyado.co.jp/>
- 駐車場／無料100台

ごしょがわら温泉ホテル

- 住所／五所川原市松島2-90
- TEL／0173-34-2121
- 客室数／18室
- 収容人数／70名
- ホームページ／<http://www2.ocn.ne.jp/~goon/>
- 駐車場／無料40台

ロイヤル温泉旅館

- 住所／五所川原市大字太刀打字千束刈13-7
- TEL／0173-39-2323
- 客室数／10室
- 収容人数／35名
- ホームページ／<http://www6.ocn.ne.jp/~royal/>
- 駐車場／無料15台

奥津軽(五所川原市)へのアクセス

東北新幹線・東京-新青森間が開業し、奥津軽へのアクセスはますます便利になりました。お好みの交通手段でお越しください。

東北新幹線で



- ※2012年度末には、約3時間5分。
- JR東日本お問い合わせ(時刻、運賃・料金、空席情報)
TEL/050-2016-1600
ホームページ/http://www.jreast.co.jp/
- 弘南バスお問い合わせ
TEL/0172-36-5061
ホームページ/http://konanbus.com/
- タクシー・レンタカー等お問い合わせ(観光情報含む)
・青森県観光総合案内所
TEL/017-734-2500
・あおり観光情報センター(新青森駅内)
TEL/017-752-6311

航空機で

- 東京 (羽田空港) JAL (約70分)
 - 札幌 (新千歳空港) JAL (約45分)
 - 名古屋 (小牧空港) FDA (約80分)
 - 大阪 (伊丹空港) JAL (約90分)
- 弘南バス (約40分) → 五所川原駅
 タクシー・レンタカー (約40分)
- 日本航空(JAL)お問い合わせ(国内線予約・案内)
TEL/0570-025-071
ホームページ/http://www.jal.co.jp/
 - フジドリームエアラインズ(FDA)お問い合わせ(コールセンター)
TEL/0570-55-0489
ホームページ/http://www.fujidreamairlines.com/

高速バスで

- (東京)品川バスターミナル → 五所川原駅 (約10時間15分)
- 横浜駅東口バスターミナル → 五所川原駅 (約10時間45分)
- お問い合わせ(弘南バス予約センター)
TEL/0172-37-0022
ホームページ/http://konanbus.com/

高速道路で

- 東北自動車道・川口JCT → 浪岡IC → (津軽自動車道・無料) → 五所川原IC (約9時間15分)
- お問い合わせ(NEXCO東日本お客さまセンター)
TEL/0570-024-024
ホームページ/http://www.e-nexco.co.jp/

奥津軽での交通手段(JRを除く)

タクシー

五所川原市

- 尾崎タクシー TEL/0173-35-2195
- 木村タクシー TEL/0173-35-7755
- 五所川原交通 TEL/0173-34-3232
- 外崎タクシー TEL/0173-34-5252
- 成田観光タクシー TEL/0173-34-2661
- ノーリツタクシー TEL/0173-35-1655
- (金木地区)あしの観光タクシー TEL/0173-53-3232
- (金木地区)金木観光タクシー TEL/0173-52-3030
- (金木地区)金木タクシー TEL/0173-53-2505
- (市浦地区)しうら観光タクシー TEL/0173-62-2204
- (市浦地区)市浦タクシー TEL/0173-62-3139

つがる市

- 朝日タクシー TEL/0173-42-3102
- 尾崎タクシー TEL/0173-42-3110
- 木村タクシー TEL/0173-42-3155
- (柏地区)木村タクシー TEL/0173-25-2037
- (車力地区)つがる交通 TEL/0173-56-2261
- (車力地区)富士観光タクシー TEL/0173-56-3121

鯉ヶ沢町

- 鯉ヶ沢観光タクシー・西海観光タクシー
(西海無線共同配車センター) TEL/0173-72-3234

深浦町

- 津軽観光タクシー TEL/0173-74-2521
- 深浦小型タクシー TEL/0173-74-2309
- (岩崎地区)岩崎タクシー TEL/0173-77-2131

板柳町

- 坂本タクシー TEL/0172-73-3131
- 須藤タクシー TEL/0172-73-2255

鶴田町

- 鶴田タクシー TEL/0173-22-3515
- ノーリツタクシー TEL/0173-22-2002

中泊町

- 中里タクシー TEL/0173-57-2311
- 奥津軽観光タクシー TEL/0173-64-3501

レンタカー

- ・トヨタレンタリース青森五所川原店
TEL/0173-33-0100 (予約受付用 TEL/0120-485100)
- ・ニッポンレンタカー東北五所川原営業所
TEL/0173-39-2883 (予約専用 TEL/0120-915672)
- ・マツダレンタカー五所川原店 TEL/0173-38-5033
- ・白取自動車レンタリース TEL/0173-36-3377

その他交通問い合わせ

- ・津軽鉄道
TEL/0173-34-2148
ホームページ/http://tsutetsu.web.infoseek.co.jp/
- ・弘南バス
TEL/0172-36-5061
ホームページ/http://konanbus.com/

編集/「奥津軽歴史探訪」推進協議会 発行/青森県西北地域県民局
 (連絡先:地域連携部地域支援室 TEL/0173-34-2175)

※本冊子に記載の情報は、2012年1月現在のものです。

「奥津軽歴史探訪」ホームページ
<http://www.okutsugaru.com/tanbou/index.html>

